

令和2年度「サービス評価」総括表 小規模多機能型居宅介護初田郷富士見荘

法人名	社会福祉法人 薫風会	代表者	添野 眞一	法人・事業所の特徴	「あたりまえの暮らしを支援します」を施設理念に掲げ、今までの生活の中であたりまえに暮らしてきたことを大切にしています。行きたい所・やりたいこと・大切にしている習慣・親戚、友人、知人とかかわり・地域とのつながり・健康管理（維持）などに心がけています。身体に何らかの障がいを負っても、年齢を重ねても、その人らしい生活を送ることで在宅生活の継続が出来るものと考えております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 初田郷富士見荘	管理者	白幡 絵美		

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	2人	2人	1人	人	7人	人	15人

項目	前回(令和2年度)の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	御意見	今回(令和3年度)の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自施設スタッフが自己評価で“あまりできていない”と感じている項目を会議や昼礼などで検討・考案にて改善を図り、知識・技術向上を目指す。	・事業所自己評価に関して、以前よりも具体的に問題点や意見は出ていたが、年間としてなかなか解決に結びつけることが出来なかった。引き続き、個々のケアに対する知識・技術向上に努めていく。	・基本的なケアプランの共有や「～したい」の把握に全職員で取組み、小規模多機能型の「特性」「メリット」等を良い意味で還元して下さい。 ・達成可能な目標設定にしても良いのでは？	・自施設スタッフが自己評価で“あまりできていない”と感じている項目を会議や昼礼などで検討・考案にて改善を図り、知識・技術向上を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	・地域交流スペースを活用して頂くきっかけの一つとして、いきいき百歳体操の定期開催、自施設での勉強会参加(見学)の呼びかけなどに取り組んでいく。	・コロナ過と言う点が一番ではあるが、外部の方を招くことが困難な状況。その中でもコロナ感染状況が沈静化してきたら、すぐに活動出来るよう事業所内で出来ることを継続していく。	・地域交流スペースの有効活用、こちらをコロナウイルスが落ち着いてきたらより深く計画していってもらえたらと思います。 ・百歳体操も是非、継続して行ってください。	・”コロナ過”と言う点で諦めるのではなく、しつらえや環境整備などその時に見合った内容を考案、実践していく。
C. 事業所と地域のかかわり	・新たな地域資源発掘や、地域貢献を目指し、施設内に外部との連携窓口を設けて情報を集める取り組みを行う。	・新たな地域資源発掘、連携を深める為、本年度より事業所内で委員会を発足。今後、外部との関係性を深める為、情報収集に努めていく。	・地域と関わり合いをもつことは大切な一方で大変なこともあります。今後も地域との連携が出来るよう活動(すあまや委員会)の継続をしてもらえたら。	・昨年度に引き続き、新たな地域資源発掘や地域貢献を目指し、外部との連携窓口を活かし情報収集に尽力する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・引き続き、自治会や地域の心配な方の情報共有を図れるよう、市や包括・地域の医療機関等との連携に努めていく。	・なかなか外部へ出向く機会を設けられない中でも、地域の方から「何かあれば相談するね」等のお言葉いただける様になってきている。	・地域や心配な方の情報共有をしていくことは大切です。遠慮なく市や包括を活用してください。	・市や包括、地域の医療機関等との連携に努めて、より地域に馴染みのある(相談しやすい)事業所を目指す。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進員の皆様からご意見を頂きながら、地域へ還元できることは何か?を事業所としてだけでなく、地域住民の一員として検討していく。	・本年度は書面開催となってしまいましたが、書面だからではなく書面だからこそ活動内容を明確にご理解頂けるように介護リーダーや管理者とも内容を考え直すきっかけが出来た。	・(書面開催)資料が解りやすくコロナ過でも通常時同様に推進委員の意見を聞き、反映させようとする姿勢はとても良いです。 ・初田郷運営推進会議は充実している為、今後も会議を活かした取組みを勧めてください。	・運営推進員の皆様からご意見や要望等を頂きながら、地域に還元できることは何か?を事業所としてだけでなく、地域住民の一員として検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	・災害時の避難場所の役割として、事業所内のみでなく、地域の消防団や消防署等との共同訓練などが行える様、努めていく。	・コロナ過で消防署隊員の出動は困難ではあったが、電話連絡等で災害への不安な点などを相談し少しでも地域の避難場所としての役割が担えるよう心掛けていた。	・防災時、利用者を守りながら地域にとって頼りになれる様に努力されている為、今後も期待しています。 ・市や消防署と連絡を取り合い防災訓練を行っており心強いです。	・引き続き、災害時の避難場所の役割として事業所内のみでなく、コロナ過での役割を担えるよう市や消防、自治会の方との連携を深めていく。